

令和7年度 第1回 甲州市図書館協議会 議事録

令和7年5月29日（木）

午後1時30分～

甲州市民文化会館

3階 第2研修室

- 出席者 《協議会》田邊康仁、甘利志賀峰、佐藤多賀子、広瀬真次、鈴木一江、
後藤美樹、青柳仁美、菅井陽子、山下由紀（8名）
《事務局》小林教育長、小林生涯学習課長、古屋、丹澤、雨宮
前島、鶴田（7名）
- 欠席者 《協議会》原子徹也（1名）

午後1時30分開会

- 1 開 会 定刻となりましたので、令和7年度第1回甲州市図書館協議会を開催したいと思います。次第に基づきまして進めていきたいと思ひます。
- 2 委嘱状交付 小林教育長より委員（1名）に委嘱状の交付。
《事務局》今年度委員の変更が1名ございますので、委嘱状の交付をさせていただきます。どうぞよろしくお願ひします。
本日は9名の委員の皆様に出席いただひており、甲州市立図書館設置及び管理条例、第9条の2により過半数に達してひますので本会の成立をご報告いたひします。
- 3 教育長あいさつ(小林教育長)
本日は大変お忙ひしい中、甲州市図書館協議会にご出席いただひき、誠にありがとうござひます。令和5年3月に第3次甲州市教育振興基本計画を策定。4月より、「人・自然・ふるさとを愛する甲州教育」を基本理念とし、基本計画のもと学校教育、生涯教育を進めてひるところでござひます。基本計画では方針3に読書活動の推進について示されておひります。目指すべき姿・取り組みの方向性は、図書館が利用者の多様のニーズに応じた資料収集を図ることで、誰もが本に親しみ、知識を深め、暮らしの課題解決や地域づくりに貢献し、生涯にわたって学び続けられる知的インフラとして、また、情報拠点として活用されるよう取り組みます。とし、施策項目として本に親しみ豊かな心を育む生涯

読書の推進に6点具体項目が示されております。全国におきましては、書店が激減し書店が1店舗もない自治体が増加し、本当に急激に進むIT化の中で、子どもも大人も読書離れが加速する状況です。こうした中で、公立図書館が担う役割とは何か。IT化時代における読書の在り方などが問われていると思います。教育振興基本計画策定の今年度3年目を迎えました。ちょうど折り返しの年度でございます。塩山図書館で開催しております、知的書評合戦ビブリオバトルが昨年度10周年の節目の年を迎え、ビブリオバトルオブザイヤー2024の大賞を受賞いたしました。勝沼図書館では、2003年度より開設しておりますカムカムクラブが今年度の4月24日に開会式が行われました。カムカムクラブの活動は県内外でとても注目されております。また、今年は長篠合戦から450年目となる年、また来年は勝頼公生誕480年。大和図書館では武田勝頼公図書展がただいま開催しております。甘草屋敷子ども図書館では、子どもたちが楽しめる企画展が実施されてきております。そうした中、令和3年4月に策定された第三次図書館基本計画の取り組み期間が今年度で終了いたします。これまでの図書館事業を振り返り、社会変化に沿って現代の図書館の課題を明らかにし、今後の図書館の在り方を示すべく、第4次甲州市図書館基本計画の策定をこのたび委員の皆様方のお力で進めていきたいと考えております。皆様方どうぞよろしく願いいたします。結びに皆様方の今後のご健勝と益々のご活躍をご祈念申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

4 会長あいさつ（田邊康仁会長）

皆様こんにちは。本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。いよいよ暑くなってきて、畑仕事も忙しくなってきました。図書館協議会につきましても、先ほど小林教育長からもお話がありましたが、第4次の図書館基本計画の策定を行う予定となっておりますので、委員の皆様にご協力いただくこととなりますが、是非ともよろしく願いいたします。

5 委員及び事務局の紹介

《図書館協議会》会長から順に

《事務局》小林課長から順に

6 諮問（小林教育長）

図書館協議会会長田邊康仁様、第4次甲州市図書館基本計画策定について諮問。第4次甲州市図書館基本計画の見直し、改定について、貴協議会の意見を求めます。令和7年5月29日甲州市教育委員会教育長小林俊彦。どうぞよろしく願いいたします。

7 議事

(1) 令和6年度図書館事業報告と利用状況について

勝沼図書館・大和図書館 古屋

資料に基づき事業報告（甲州市図書館令和6年度事業報告）

定例事業としましては大きく変更はございませんが、図書館に来館される人が戻ってきたこともありまして、ぷーさんのおはなし会、かるがもおはなし会、そして工作付きのピーターパンのおはなし会も非常に大勢の方にご参加いただきました。

・まーのあまーのさんの手話のおはなし会ですが、手話言語条例が制定されたこともあり、県内外から様々な方が見学に来てくださいました。聾話の子ども楽しみながら読み聞かせをしていて、健常者の子どもも一緒に手話だけのおはなし会を楽しんでいる様子でした。

・次にカムカムフェスタですが、ティンカーベルの皆様には素晴らしいおはなし会をしていただき、ありがとうございました。また子ども読書クラブのカムカムクラブですが、昨年度も13回の活動の中22名の子どもたちが参加してくれました。その中でも、カムカムデジタルライブラリーとして市内紹介動画を作成しています。昨年度は大日影トンネルとワインカーヴの紹介動画を撮影しました。自らが演者となり撮影し、非常に見事な仕上がりになりましたので、YouTubeなどで見れますのでご覧になってください。

・次にぶどうとワインの資料展についてですが、愛でるをテーマに開催しました。こちら過去最高の来館者数とアンケート数で、県外からの方も多く来てくださり、様々な方に見てもらえたと実感しております。また併せて開催した古文書セミナーの方では、甲州市の文化財担当の小野指導監に講師となっていただき開催しました。

・勝沼図書館では多くのワークショップを開催しましたが、特に造形作家さわこさんによる造形サロンが非常に人気です。毎回すぐに定員に達してしまい、申し込みができなかった方から小言も言われます。

・ワインのイベントとして産地ワインの夕べやbreak at the libraryも大盛況でした。

・1月に蒼い夜の狼たちの原画展を開催しました。こちらは丹波山村の狼伝説をもとにした原画展でしたが、NHKと新聞にとりあげられたことで、多くの方に見ていただくことができました。

塩山図書館・甘草屋敷子ども図書館 丹澤

塩山図書館と甘草屋敷子ども図書館でも、来館される方の人数が戻ってきてるなど感じております。

- ・甘草屋敷子ども図書館で開催している企画展ですが、子どもたちがとても楽しみにしてくださっていて、昨年度はダンボールの蔵、おぼけの蔵、新作のお祭りの蔵、なぞなぞの蔵の全4回で開催しました。子どもだけでなく大人も楽しめますので、委員の皆様もぜひ足を運んでみてください。
- ・塩山図書館では子ども向けのワークショップとして、竹のウィンドチャイム作り、クリスマスに毛糸を使ったワークショップ、そして牛乳パックでびっくりへびを作るワークショップを開催しました。この他にも大人向けのワークショップとしてペーパークラフト教室を4回開催しました。
- ・山梨むかしがたりの会の方に昨年度も公演をしていただき、大勢の参加者がありました。
- ・甘草屋敷子ども図書館では立地状況を生かし、庭にテントをたてたり、ハンモックなどを用意して、館内だけでなく外で本を読んでもらうパークライブラリーを2回開催しました。
- ・小林教育長のお話の中にもありましたが、昨年度塩山図書館がビブリオバトルオブザイヤー2024で、皆様のご協力により大賞を受賞することができました。塩山図書館のフロアの方に、頂いた楯と賞状が飾ってありますので、また是非見ていただければと思います。ビブリオバトル10周年を記念して、ビブリオバトルの講師を招いて講演をしていただき、歴代のチャンプを集めてチャンプ大会を開催しました。全国大会で優勝経験もある方もバトラーとして参加してくださり、非常にレベルの高い大会となり、見学に来てくださった方々も楽しんでいただける様子でした。

会長（議長）：事務局から令和6年度の事業報告がありましたが、何かご質問がありましたらお願いします。
特に無いようですので次に進めさせていただきます。

（2）令和7年度図書館事業計画について

事務局 古屋

市内の連携事業などは例年通り積極的に行っていきたいと思えます。

- ・勝沼図書館では、ルーラル電子図書館を導入しました。こちらは農業関係の紙媒体の資料とデジタル資料もみることができるものです。こちら準備ができ次第広報などで周知していきたいともいます。
- ・図書館内の展示が近年、市役所の各課とコラボすることが多くなりました。今年度も社会を明るくする運動、そして平和や防災について様々な課と連携をしながら展示を行っていきたいと思えます。
- ・大和図書館でがすでに武田勝頼公の展示を行っています。過去のものも展示

してあり、本日新聞社の取材がありますので、近々新聞に掲載されると思いますので、皆様にも見ていただければと思います。

・甘草屋敷子ども図書館では、地元の農業カメラマン網野文絵さんの写真展を開催する計画をしています。

・キャリア教育として、地域の小学生中学生だけでなく、大学生のインターン受け入れも行っていく予定です。

今年度もたくさんの事業を考えていますので、全て実施できるように頑張っていきたいともいます。

会長（議長）：事務局から令和7年度の事業計画について説明がありましたが、委員のみなさまから質問、意見等ありましたらお願いします。

今年度これをとる事業がありましたら教えていただきたいです。

事務局：先ほどお話をさせていただいた、ルーラル電子図書館は昨年度から少しずつ準備をしてきました。観光のため、そして地元農業のためと思い進めさせていただきました。こちらは農業系の雑誌が全て端末に集約されていて、農業の栽培に関して知りたい細かい事もこちらの端末で見ることが出来ます。また農業だけでなく観光の方たちのためにワイナリーや近隣の観光施設の情報をQRコードで全て見ていただけるように準備しております。また、デジタルアーカイブ化を進めてきた勝沼図書館の貴重資料をこちらの端末でみれるように現在進めております。

この他にも甘草屋敷子ども図書館で開催予定の、農業カメラマン網野文絵さんの写真展ですが、何年前に甲州市立図書館全体でコラボ展示をさせていただきました。昆虫の目線から植物を撮影したり、桃やぶどうなど様々なものを独自の視点で撮影される方です。非常に面白い視点で撮影されていますのでこちらの写真展も楽しみにしていただければと思います。

会長（議長）：他に委員の皆様から質問等ありますでしょうか。

小林教育長：昨年度も多くの事業を行い、今年度も多くの事業を計画していただいてありがたいと思っています。委員の皆様を実施する事業への案内などを行っているのでしょうか。これだけの事業を行っているので、委員の皆様にも知っていただければと思ひまして。QRコー

ドでのお知らせなどできれば非常に便利だと思います。

事務局：児童クラブや保育園。そして小学校にはお知らせを行っていますが、委員の皆様には行っていませんでした。今後、通知で送らせていただきますので、都合があればご参加いただきたいと思います。現在図書館でもワークショップの申し込みをQRコードで行えるようにするかを検討中です。QRコードなら開館時意外の時間でも申し込みができるなどメリットがありますが、図書館利用者には年配の方も多くいるので、年齢層もふまえて今後検討をしていきたいと思っています。

議長（会長）：今後通知が来るとしますので、私含め一人でも多くの委員の方が図書館のイベントを見に行ければと思います。
他に質問等ありますでしょうか。無いようですので次に進めさせていただきます。

（3）第4次図書館基本計画の策定について

事務局：教育長から諮問させていただいた通り、第4次甲州市図書館基本計画を年度末には策定させていただきたいと思っています。今年度は、第1回図書館協議会を含めて3回開催する予定です。第1回目で皆様からご意見をいただけたらと思い、事前に素案を送付させていただきました。今後の図書館の在り方を考えていくうえで、本協議会のお力を借りながら地域の実情やご意見を反映させていただき、そして利用者の声、図書館スタッフの思いなど全てを反映させることが重要だと考えておりますので、どうぞ皆様よろしくお願いたします。

会長（議長）：委員の皆様で、素案を読んでいただく中でご意見などありましたらお願いします。

甘利委員：質問なのですが、第1章計画の位置づけの、前回は漢数字だったのに今回は算用数字になったのでしょうか。

事務局：こちらに記載されている第3次甲州市教育振興基本計画も第二次までは漢数字でしたが、今回算用数字に変わりました。図書館基本計画も全て横文字で記載されているので、図書館としても算用数字に変えさせていただきます。

甘利委員：ありがとうございました。次のページの人口減少・高齢化社会の最後の一文についてですが、出生率の数字が入っているが何の数字か分からないので、合計特殊出生率と文言を入れた方が良いと思います。またタイトルに高齢化とあるが文にはないので、高齢化についても触れた方が良いと思います。

事務局：ご意見ありがとうございます。

小林教育長：いい意見が出ている中申し訳ありませんが、年間の策定の進め方について委員の皆様方が理解されているのかということ。そして委員の皆様が素案を読んで意見が言える段階にあるかどうか。専門的な内容なので、そういった部分が心配になりました。第1回目の図書館協議会なので、事務局から計画の趣旨などを説明した上で、委員の皆様を検討していただきたい部分を伝えた方がスムーズだと思います。

事務局：詳しい説明もなく進めてしまい申し訳ありませんでした。まず今年度図書館協議会は年3回の予定となっております。この3回で最後の策定まで達しなければならないため、素案の方を送らせていただいた経緯があります。次の2回目の協議会は11月を予定しております。7月8月で計画の内容を見ていただきまして、8月下旬までに皆様からご意見をいただき、それを集約したものを皆様に郵送させていただきたいと考えています。その後11月の第2回図書館協議会で、更にご意見をいただき付け加え修正を行い、そこで内容は確定したいと考えております。そして第3回目の協議会は2月に予定していますが、1月に行うパブリックコメントを踏まえた最終案の確認をさせていただきたいと考えております。大変ご足労だとは思いますが、ご意見を図書館に届けていただくか、電話などでも構いませんので何度か意見交換をさせていただくことになるかと思っております。以上が今年度の協議会の予定となっております。

そして第4次図書館基本計画の内容についてですが、私たちの中でコロナ禍を経た5年間ということで、社会もそうですが図書館の情勢も相当変化しました。その中で、図書館を取り巻く社会環境の変化やICT化が急激に進みましたので、それらの要素を多く盛り込ませていただきました。この点が大きく変わったところだと思っています。また、甲州市の在り方として、甲州市教育振興基本計画、来年度策定予定の子

どもの読書活動推進計画の内容と合致させたものを策定しなければならないと考えております。さらに、図書館としての社会情勢として持続可能なSDGsということを非常に言われております。甲州市立図書館ではこの5年間でできることを変えていこうと考え、第4次図書館基本計画の内容を作成しました。今回文言が非常に増えて、言葉としても難しい言葉が多くなってしまいましたので、文言の説明書きも多く記載させていただきました。説明が必要な言葉や、言い回しを変えた方がよい箇所がありましたら、ご意見ありましたらぜひお願いいたします。

図書館を取り巻く社会環境の変化ということで、コロナが流行る前に、読書バリアフリー法が成立したのですが、コロナ禍で中々進めることができませんでした。特にイフラユネスコの公共図書館宣言を入れさせていただいたことが大きいと思っております。また、先ほど甘利委員からご指摘いただいた少子高齢化のところですが、甲州市の出生率が第3期甲州市子ども子育て基本計画に載っていたのですが、令和4年度の数値でしたので、国の指針の数値をいれるかを悩んでいますので、ご助言いただければと思っております。そして、ソサエティー5.0社会の実現ということで、こちらが1番新しい事だと思います。IoTやビックデータといった、様々な電子データについて記載させていただいております。甲州市立図書館では電子書籍は導入しておりません。電子書籍を導入する場合甲州市の人口が3万人ほどなので、1カ月で50人利用しなければその書籍のデータは消えてしまいます。図書館としては、消えてしまうデータに予算を使うのであれば、紙媒体で残るものに予算を使いたいという思いがあり、電子書籍は導入しておりません。そういった理由から今回の計画には盛り込んでおりません。ただ委員の皆様から電子書籍が必要という声があれば、協議していきたいと考えています。今回の会議の中で意見がまとまらない方は、8月24日までにご意見いただければと思っております。

小林課長：教育長のご指摘いただいた点は、私も心配しておりました。古屋リーダーと話し合った中で、協議会は全3回ですが、その間でいずれかの方法で意見交換を実施し、策定を目指そうとなりました。皆様の前だと発言しにくい方もいらっしゃると思いますので、電話やメールでも構いませんので、質問等いただければと思っております。それぞれの期間を長めにとってありますので、お忙しい中だと思いますがご覧いただく中で、お気づきの点があればよろしくお願いたします。

会長（議長）：この素案についての担当の思いなど説明がありました。皆様には計画の中を見ていただいて、気が付いたところを8月24日までに図書館までお願いします。

事務局：素案のデータが欲しいという方いましたら、送らせていただきますので事務局まで申し出ください。

小林教育長：本当に古屋リーダー中心に、ここまでの素案を一生懸命作成して下さったのは感謝しております。少し言いづらい事ですが言わせていただきますが、内容が難しいと思います。市民の方が読むのであればこれは難しいので、もう少し平易に記載し読みやすくなった方がいいと思います。また、第3次甲州市教育振興基本計画では、読みやすくするために文字のフォントを少し大きくしました。図書館基本計画もフォントを大きくしてみてもいいでしょうか。

会長（議長）：教育長のおっしゃる通り、多くの市民にこの内容で理解していただけるかは難しいところだと正直思います。

青柳委員：第4次図書館基本計画は、前回の計画に比べて文字数が多いものになっています。第4次の計画は令和8年から令和12年の5年間使用する基本計画だと思います。現在の社会状況は刻々と変化している中で、図書館として何をやっていくべきか。図書館としてどういったことを目指すのか。その辺を教えていただけると、文章を直すうえで参考になると思います。そして、前回の計画策定時にいらっしゃった委員の方から前回の様子を教えていただきたいなと思いました。

事務局：実は今回素案を作るのに何が1番大変だったかというところ、この5年間で文言が非常に増えたことです。バリアフリーもそうですが、社会の動向があまりにも速く動きすぎて、施設の老朽化だけでなく、子どもたちにギガスクールが導入されたことで、子どもたちの視点がまず変わってしまった事。電子書籍によって紙媒体の本から離れてしまった事。そして、コロナ禍で人との接触する機会が激減し、現在でも人との接触を好まない利用者もいる中で、新しい図書館では広いスペースを求められています。誰でも安心できるスペース、空気の清浄化、そういった事が全国の図書館の基本計画に記載されていて、非常に驚きました。ま

た、子どもたちの支援については様々な視点から行っていかなければならないのですが、甲州市としてはアニメーションという独自の読書教育を行っていますので、他で行っていないアニメーション事業を中心に行っていきたいと考えております。子どもたちが本に触れる機会を作るために、児童クラブや保育園などに出向きおはなし会を行い、図書館の人を知ってもらう事。これも大事なことだと考えています。公共図書館は、親が連れてきてくれなければ子どもは来ないと感じています。特に勝沼図書館は立地的に、子どもだけでくることは稀です。子どもが一番身近な図書館は学校図書館です。学校図書館で常に本と触れる機会を作っていく。そのために学校司書との連携は絶対的に必要なもので、公共図書館と学校図書館の司書は連携して、読書教育をしていくことはとても大切だと思っています。高齢者サービスとしましては、大活字本の提供。そして羅列した文字が読めない人が増えている中で、そういった方が読みやすくするリーディングトラッカーを導入したりと、図書館としてのサービスが非常に多くなりました。その中で、どの項目を重点的にすればいいかは非常に難しかったです。

目指す図書館像についてですが、甲州市立図書館の1番の良いところは「いつでも・どこでも・だれにでも」という理念のもと動いていることです。他の図書館では、市外は登録時有料だったり、笛吹市では市外の方は登録できません。甲州市立図書館では、いろんな人に図書館を利用してほしいと考えて、住所があればどなたでも登録できます。この文言を据えて、図書館活動を支える基本として「専門性」「発信」「保存」を掲げました。先ほど教育長がおっしゃったとおり、文言が難しかったり、文が長かったりと非常に難解になっているかもしれませんので、その辺についても助言いただければと思います。

会長（議長）：コロナなど予想だにしない状況を経験して、この第4次を作るのですから、文言や文章が多くなってしまうのは仕方のない事なのかなとも思います。その中で図書館としてこれを中心に、というものを出示してもらって、少しでも削れるところは削って、分かりやすいものになればと思います。

事務局：1番は専門性です。甲州市立図書館4館の特色は他の図書館に比べて、これほど専門性の高い図書館はないと私は思っています。県内外で閉館している図書館が増えている中で、甲州市4館はそれぞれ特色がはっきりしていて、所持している資料も異なり、活動も違う特色あるものを行

っています。他の図書館とは違う専門性を全面的に出していければいい
とっております。

小林課長：今の古屋のお話で、現場の職員が今後どうしていきたいかは伝わった
のかなとは思いますが。それを踏まえて文章を読んでいただき、これでは
伝わりづらい、難しいといった箇所があれば教えていただければと思
います。ただし、いただいた意見が全て反映されるわけではありませ
ん。皆様からのご意見をいただく中で、より良い計画ができればと思
います。

広瀬委員：今回素案が送られてきましたので、読んでみたのですが難しくて分
らなかったです。これを読んでメールなどで気になった点を送って欲
しいとのことでしたが、現実的に難しいですね。文章を読んだ意見
は難しいですが、先ほど出ました電子書籍について、必要か否かとい
う問いがあればそれについてお答えはできると思います。そういった
悩んでいる部分を聞いていただく形の方が答えやすいです。

会長（議長）：ご意見ありがとうございます。前回の計画時では内容について
ではなく、文章の言い回しなどの訂正を委員で意見をだした記憶があ
ります。確かに内容についての意見は中々難しいものだとは思いま
すので、事務局から文章についての問いなどをだしていただく形が、
意見が言いやすいと思います。

事務局：職員の中で内容について今一度、話し合いをさせていただき案を送らせ
ていただきたいと思います。また、本日ご用意していただいた方のご
意見は、後程直接聞かせていただきたいと思います。こちらからご意見
いただきたい部分について投げかけさせていただきますので、よろしく
お願いいたします。

会長（議長）：事務局からの投げかけ時期はいつ頃ですか。

事務局：6月中には送らせていただきます。

会長（議長）：非常に大変だと思いますが、よろしくお願いいたします。

甘利委員：昨年度にお話させていただいたのですが、甘草屋敷子ども図書館の手

洗い場が高くて、子どもたちが使いづらいので、計画の施設整備に入りませんかでしょうか。

事務局：そちらは計画に入れず、修繕で対応させていただきますのでよろしく申し上げます。

会長（議長）：他に基本計画について質問等ありますでしょうか。無いようですので委員の皆様は、修正案が送られてきましたら一読いただきご意見等よろしく申し上げます。

（４）その他

事務局：勝沼図書館が6月2日から13日まで蔵書点検となりますので、休館させていただきますのでご了承ください。また4月から図書館利用で一部変更部分がございますのでご報告いたします。今まで、視聴覚資料は借りるのも返すのも、その図書館でしかできないルールでした。こちらの方見直しを行いまして、他館からの予約・返却ができることになりました。また、皆様の手元にビブリオバトルのチラシを配らせていただきました。バトラーも揃いましたので、是非見に来ていただければと思います。

8 閉会のことば（甘利副会長）

最初の会長のお話にもありましたが、畑仕事が本当に忙しくなってきました。甲州市の図書館基本計画を読まさせていただいて、本当に図書館スタッフの方たちがハードな部分とソフトな部分を含めて、図書館をより良くしようと考えていらっしゃると本当によく分かりました。これだけの冊子を今日までに作るのはとても大変だったと思います。また、甲州市の図書館が市内だけでなく、全県下それから全国に誇れる図書館になっていきますように、皆様で協力して良い基本計画ができますよう、ご協力をお願いします。これをもちまして令和7年度第1回甲州市図書館協議会を閉会いたします。

会議 午後2時50分 閉会

席次 (R7.5.29)

南

甘利	青柳	後藤	佐藤	菅井	鈴木
----	----	----	----	----	----

田邊

広瀬
山下

教育長	課長	古屋	雨宮	前島	丹澤	鶴田
-----	----	----	----	----	----	----

入口

北